

幼児のための音読教材 季刊誌「にこり」

B5縦版 52ページ (フルカラー)

春(4月)号/夏(7月)号/秋(10月)号/冬(1月)号

「作文」「絵日記」のお手本がぎっしり詰まった音読教材です。

本誌には、一般社団法人 日本育脳協会主催の「作文コンクール」の入賞作品並びに優秀作品が掲載されています。

低年齢は、「読みきかせ」、年中以降は、「音読本」として、活用できます。

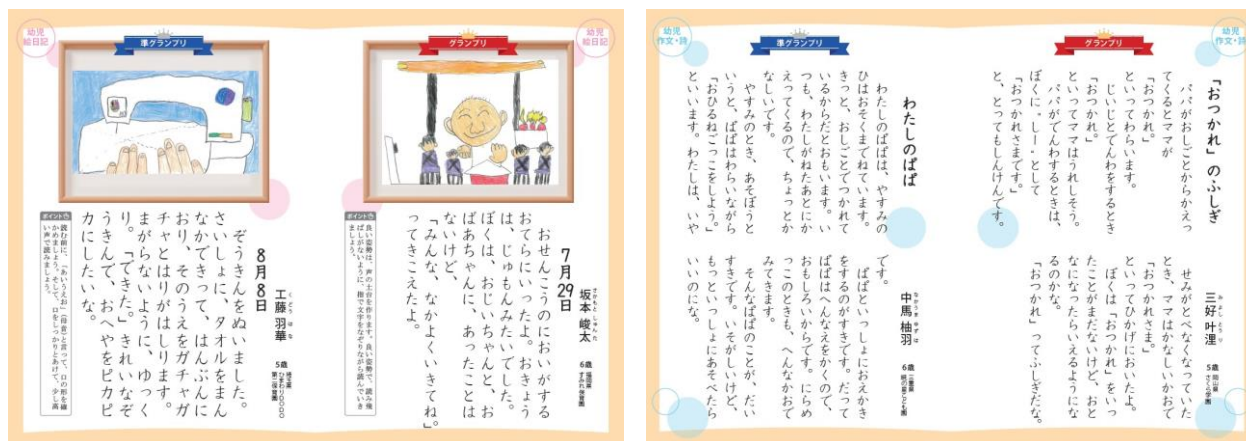
① ただ、読むだけで、感覚的に「書き方」が学べます！

子どもたちの書く力を高めていくためには、「よいお手本」が必要です。

同じ年齢の子どもたちの生活体験の中から生まれた感性や心は、大人では書くことができません。

読み聞かせ、音読を通して、頭の中で場面を想像していきましょう。

この想像力が文章表現に生きていきます。



季刊誌「にこり」2022年 春号より

② 「読み取り」学習にも最適です！

音読の後、おうちの人楽しく、簡単な質問をクイズにしていって、何となく読むのではなく、意味をとらえながら、読めるようになっていきます。

短い作文だからこそ、読み取りが楽しく、簡単にできます。そのやりとりは、ワーキングメモリの強化にもつながっていくので、効果抜群です。

*使い方のポイント説明が記載されています。